

(第2号様式)

宜野湾第 2924号
令和5年 3月15日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立宜野湾学校
校長 仲宗根 勝
(公印省略)

令和4年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年2月10日付け教県第1995号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和4年7月25日	場所	本校大会議室	出席状況	2名参加
第2回	日時	令和4年12月22日	場所	本校大会議室	出席状況	3名参加
第3回	日時	令和5年2月21日	場所	本校小会議室	出席状況	3名参加

2 学校評議員に求めた事項

- ①大学入試および進路の取組について
- ②学習や部活動への取組について
- ③スマホ利用や服装容儀など校則について
- ④通信制課程での取組について

3 学校評議員の意見

- ①令和3年度の大学進学率は、本校の過去最高となっている。学校全体での進路指導の取組がうかがえる。今後も更に頑張ってもらいたい。
- ②部活動の活躍は、新聞やニュースなどでも拝見している。本校の活躍に期待している。
- ③依然として生徒たちの家庭学習時間が少ない。主体的学習へどう取り組ませるかがとても重要である。
- ④総合的な探究の時間における地域連携に関わり、地域主催のボランティア活動へも参加して欲しい。
- ⑤スマホ利用など校則について、学校主導だけではなく、生徒たちに考えさせることが大切である。

4 学校運営に反映した事項

- ①HPや懸垂幕・横断幕により、生徒の活躍を積極的に地域へ発信し、生徒達のモチベーションへと繋げた。
- ②自主学習ノート「G1ノート」を全生徒へ配布し、朝や昼食時間、放課後の隙間時間の活用や、家庭における自主学習への有効活用に取り組んでいる。
- ③総合的な探究の時間の取組で、地域や大学との連携、協力により多くの成果をあげている。
- ④リーダー研修の場や、生徒代表、保護者代表、学校代表による「校則の見直しに関する話し合い」の場を設けて、校則見直しについて話し合った。

5 課題その他

- ①観点別評価における指導と評価の一体化を図る更なる研究と実践。
- ①GIGAスクール構想に伴う1人1台端末の活用方法の研究と実践。
- ③コロナ禍の中、実現出来ていない、シンガポールの高校との交流事業の推進。